



江別市議会議員

岡英彦 市政レポート

無所属

16年間ずっと、政党に所属せず活動しています。



どうなる？ 日本ハムファイターズ・ファーム施設誘致

北海道日本ハムファイターズは、7月7日にファーム（2軍）施設を北海道へ移転する意向を表明しました。

新しい施設は、観客席5,000人規模のメインスタジアム（屋根なし）を中心に、練習用サブグラウンドや室内練習場、選手寮を併設する予定です。さらに、将来的には、商業施設や住宅、宿泊施設も整備し、単なる野球施設だけではなく、新たな街づくりにつなげる構想も示されています。

移転先は2027年までに決定し、2030年頃の開業を目指すとされています。

江別市でも、誘致に向けた動きが進んでいます。5月には市民有志による『江別・北海道日本ハムファイターズファーム誘致期成会』が設立され、広報活動や署名活動などが展開されています。エスコンフィールドからの距離などを踏まえると、江別市は有力候補地の一つとみられており、今後、市と球団との間で交渉が進められる見込みです。ただし、事業規模や自治体の負担の具体的な内容は、まだ明らかになっていません。

市長は、子どもたちに夢を持つもらえるものであり、市民の熱意に応え積極的に誘致を進めたいとの考えを示しています。一方で、市としては球団関係者だけが使う施設への財政支援は難しいとしており、民間資金を活用した事業手法について検討しているです。



福岡県筑後市にあるソフトバンクホークスのファーム施設（1月に視察）





市役所新庁舎の基本設計がまとめました

建て替えを検討している市役所新庁舎の基本設計が6月にまとめました。新庁舎は地上4階建て・延べ1万3925m²で、現庁舎の約2.3倍の広さとなります。



■ 7つの庁舎を統合

現在、本庁舎・別館・第二別

外観イメージ図：江別市本庁舎建設基本設計（概要版）より

館・教育庁舎・錦町別館・環境事務所・土木事務所の7つに分散している機能を新庁舎に集約します。

■ 市民に使いやすいフロア構成

来庁者の移動負担を最小限に抑えるため、ワンフロアサービスを採用し、市民窓口を1階にまとめます。

■ 災害に強い庁舎

地震の揺れを建物に伝えにくい免震構造を採用しています。また、非常用自家発電設備により、停電時も最大3日間、業務を継続できます。

■ 環境への配慮

断熱性能を高め、一次エネルギー消費量を50%以下に削減する計画です。

概算事業費は142億円とされています。このうち115億円は地方債（借金）で賄う必要があり、新庁舎建設後の財政状況が悪化しすぎないように、十分に注意していく必要があります。



新庁舎は2028年供用開始予定

日本ハムファイターズ・ファーム施設誘致を見据え、誘致実現に向けて財政的な余裕を残しておくために、大規模な投資となる新庁舎建設のスケジュールの見直しについて、9月の議会で一般質問を行いました。市長は、ファーム施設誘致と新庁舎建設は別次元の話と考えており、新庁舎建設は2026年着工、2028年供用開始のスケジュール通り進めると答弁しています。

編集・発行 岡英彦と考える会

〒069-0811 江別市錦町2-3-102

電話：011-384-2705 FAX：011-378-9630 メール：info@ebetu.jp

2025/秋号

